

# 多職種から構成される認知症専門職支援グループ TEAM DEMENTIAの設立

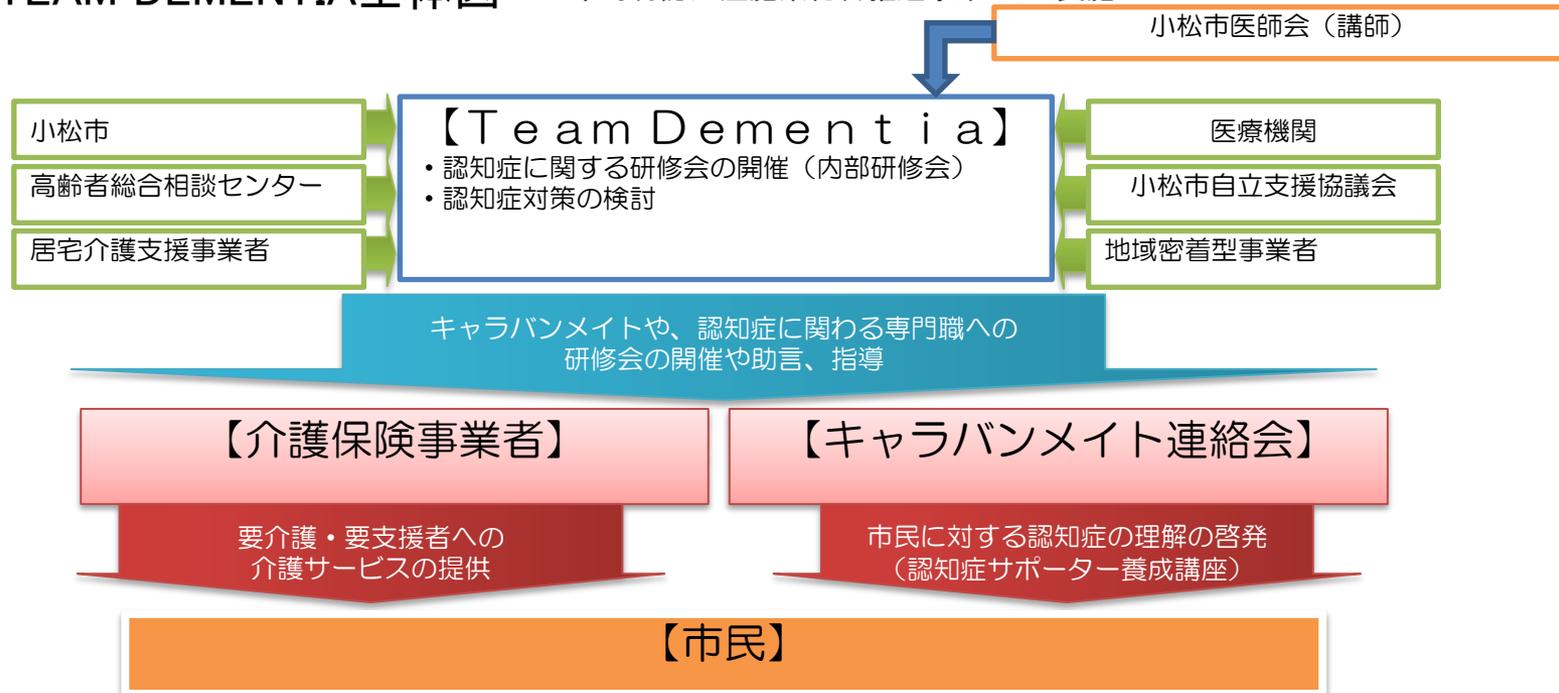
○平成24年度に、認知症に対する病態の理解やケア技術について、関わる専門職のスキルアップを図るとともに、多職種間での共通理解を深めるためには、どのような研修を行うべきか、小松市と、小松市医師会、高齢者総合相談センター連絡会、グループホーム連絡会、小松市自立支援協議会、小松市キャラバンメイト連絡会からの推薦者で検討を行った。

○その中で、単に知識の向上を目的とするのではなく、地域包括ケアを推進できるような、コアとなる専門職の養成が必要であるとの結論に至った。

○平成25年度から、TEAM DEMENTIAとして、コアとなる専門職を養成(20名程度)する予定となっている。

## TEAM DEMENTIA全体図

市町村認知症施策総合推進事業として実施



## 地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	小松市
②人口（※１）	109,062人（ ）
③高齢化率（※１） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	24.9%（ ）
① 取組の概要	認知症に関わる専門職を助言・指導するグループとして、「TEAM DEMENTIA」を立ち上げるもの。平成25年度は、そのコアとなる専門職の養成を行うもの。
⑤取組の特徴	小松市では、市民に対して、キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座を積極的に推進し、人口の約1割である1万1千人のサポーターが養成された。認知症高齢者が増加していく中で、今後は、市民に対してだけではなく、キャラバン・メイトを含む認知症に関わる専門職のスキルアップも図っていく必要があり、その担い手として、「TEAM DEMENTIA」を立ち上げるもの。
⑥開始年度	平成25年度（平成24年度は、その検討を実施）
⑦取組のこれまでの経緯	平成24年度市町村認知症施策総合推進事業において、専門職のスキルアップと多職種連携の必要性が言われ、その具体的方法として、TEAM DEMENTIAの立ち上げが決定した。平成25年度は、小松市医師会の協力を得ながら、介護、福祉、医療の各専門職に周知し、そのコアとなる人材の養成を行う。
⑧主な利用者と人数	20名～30名を養成予定
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	小松市、小松市医師会、小松市自立支援協議会、居宅介護支援事業者、高齢者総合相談センター、地域密着型事業者、介護保険施設、
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	主催
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	平成25年度市町村認知症総合推進事業（介護保険事業）6,000千円 ※同補助金の他事業も含む
⑫取組の課題	養成者の異動等による活動の中断
⑬今後の取組予定	月1回の養成講座の開催（平成25年6月～）
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	小松市長寿介護課 （0761-24-8168）

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。